



塗り替えプチ辞典

美しさ いつまでもを阻むもの その1

2級建築施工管理技士 杉山 昌治
一級塗装技能士

何事につけ、美しい状態が保たれ続けることは価値であり喜びでもありますね。しかし「諸行無常」と言われるように、どんな物でもいつかは

- ①「汚れ」たり
- ②「色あせ」たり
- ③「ツヤひけ」たり

して、やがて衰え朽ちていきます。

今回は、美しさ いつまでもを阻むこれらの現象を外壁を例にとり原因とその対策について述べたいと思います。

①「汚れ」の代表的なものは雨だれで、汚れが黒く線状に付着したものの(写真1)です。原因は(図1)のように空気中の汚れの成分が雨水と一緒に流れ落ちる時に汚れ成分(主にカーボン)が線状に残るためです。対策としては、[塗料の選択]と[構造の対策]、そしてその併用が有ります。

[塗料の選択]

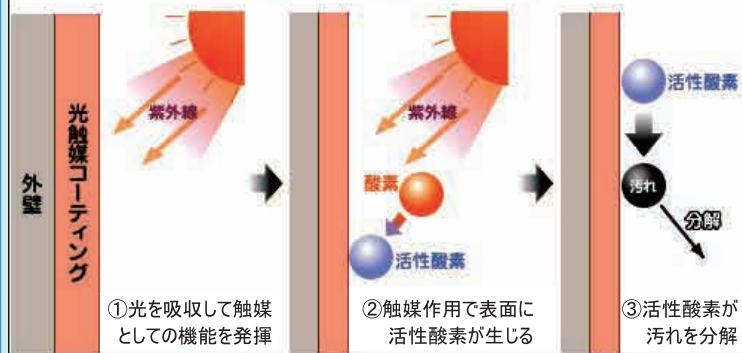
光触媒塗料とか親水性塗膜塗料といわれる防汚塗料で塗装する方法です。仕組みは(図2、3)を参照してください。

[構造の対策]と②「色あせ」③「ツヤひけ」については、次号でお話します。



光触媒塗料

光触媒の外壁の防汚作用イメージ



光触媒net様より引用 <http://hikaris yokubai-net.com>

図2 汚れ分解の仕組み

親水性塗膜塗料

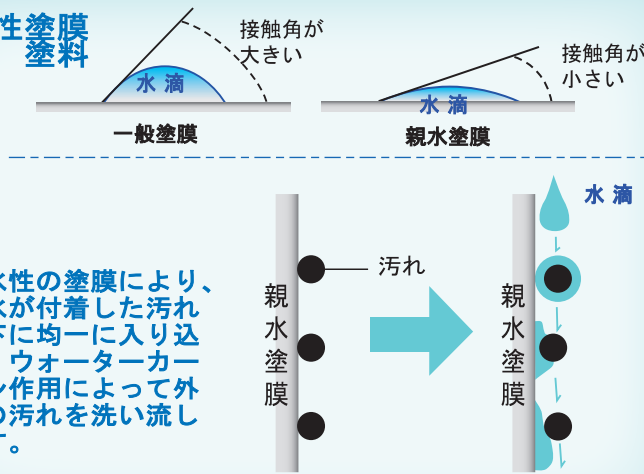


図3 汚れを流す仕組み



写真1 雨だれの汚れ



表面張力で汚れが水滴の端に溜り水滴が流れる時、汚れが線状になって外壁の上に跡となって残る。

図1 汚れの仕組み

ご注意!

汚れにくいとは、違う
汚れない

雨水の流れる所がいつも同じだと、その場所は汚れが残り易くなります。光触媒塗料や親水性塗膜塗料で塗装しても、全く汚れないと言う事は絶対に有りません。